シリーズ 探訪 わが町文化財 『あらぎ島編』 その24

八幡小学校の稲刈り体験が行われました

棚田の稲が緑色から黄金色へと変わり、稲穂が垂れ下がる実りの季節を迎えた9月9日、蘭島（あらぎ島）において八幡小学校の稲刈り体験が行われました。

これは、地権者をはじめとした地域住民の協力のもと、八幡小学校の3・4年生12名が総合学習として取り組んでいるもので、籾まき、田植え、稲刈り、脱穀などお米の生産過程を学習する他、水田の生き物や笠松左太夫の功績、米料理、世界の棚田と日本の棚田、そして今年有田川町で開催される棚田サミットについてもグループに分かれて学んでいます。子ども達には、この学習を通して自分達が生活している清水地区の素晴らしさを学んで欲しいという思いが込められています。

また、昨年に引き続き、小学生の農作業体験を有田中央高校清水分校の生徒が補助を行い、一緒に稲刈り作業を行いました。これは、地域の自然環境や自然を活かした産業を学ぶ1年生の総合学習の一環で協力しているものです。

この日、鎌を手にした子ども達は、稲株を片手で握り、ぎこちない手つきで刈り取りを始めましたが、高校生のサポートもあり、次第に慣れた手つきで楽しく稲刈り作業を進めることができました。作業は、小一時間で終わりましたが、あらぎ島では第一番目の稲刈りとなりました。

かつての農作業は、子ども達なりに役割を担い、共同作業を通して世代間の交流や連帯感を育んできました。子ども達からは「しんどかった」「疲れた」という感想が多く聞かれましたが、農作業の機械化が進んだ現在において、手作業で苦労した農作業体験は、子ども達が成長した後も記憶として残り、土地や郷土に愛着を感じることにもつながるなど、この地域の将来を担う子ども達にとっては大変貴重な体験であると考えられます。

●〒643-0021 和歌山県有田郡有田川町下津野2018-4
●有田川町役場総務課 TEL 0737－52－2111

VEGETABLE OIL INK